

1. 施設所管課

教育委員会事務局 栗山公民館

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市西川運動場			
	所在地	日光市西川126番地2外			
指定管理者	名称	株式会社湯の郷、湯西川温泉旅館組合事業共同体			
	代表者名	株式会社湯の郷 代表取締役 赤羽 忍一			
	住所	日光市西川481番地			
指定期間		平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年間
選定方法		非公募		評価実施年	5年間のうち3年目
施設設置目的		地域住民の健康保持及び増進並びにコミュニティレクリエーション広場として設置			
主な実施事業		西川運動場の施設の維持管理、使用の許可及び運動場の運営に関する業務等			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	利用団体数	団体	100	152	100	155	100	134				
b	使用日数	日	100	114	100	107	100	106				
c	施設稼働率	%	30	46.7	30	43.9	30	43.4				
d	サッカー大会等実施回数	回	6	11	6	10	6	8				
e	利用者の満足率	%	90	77.8	90	89.1	90	87.2				

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
収入計 A		11,635,250	12,438,427	12,395,661	0	0
指定管理料 利用料収入 自主事業収入 その他	指定管理料	10,296,300	11,120,000	11,120,000		
	利用料収入 C					
	自主事業収入	1,338,916	1,318,405	1,275,618		
	その他	34	22	43		
支出計 B		11,377,394	12,205,743	12,183,113	0	0
指定事業費 内人件費 内外部委託費 自主事業費	指定事業費	10,109,936	10,963,762	10,957,127		
	内人件費 D	4,074,935	4,354,838	4,192,588		
	内外部委託費 E	3,246,800	3,289,454	1,400,088		
	自主事業費	1,267,458	1,241,981	1,225,986		
事業収支 A－B		257,856	232,684	212,548	0	0
人件費率 D／B		35.82%	35.68%	34.41%	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E／B		28.54%	26.95%	11.49%	#DIV/0!	#DIV/0!
※着色セルは、自動計算としている。						
補足説明						

サービス改善の状況

人工芝サッカー場の南側に、日除け、雨除けとなるテントを設置したことにより、利用者が休憩所や荷物置き場として使用する等、利便性の向上につながった。
多目的広場を中学生以下を対象にサッカー場として使用させることにより、サッカーフェスティバルの参加者数が増加した。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価	
①サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B	
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B	
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B	
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B	
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B	
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B	
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B	
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B	
	管理記録	協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B	
②サービスの 質の評 価	施設管理	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B	
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B	
	利用者対応	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	A	A	
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B	
	事業運営	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
		緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B	
	維持管理	避難経路が適切に確保されている。	B	B	
		「業務の実施体制」に関する評価【17項目】		B	B
	③安定性	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
			事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
利用者対応		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B	
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B	
事業運営		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B	
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B	
維持管理		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B	
所見 (成果・課題等)		環境配慮	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
			仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
	広報活動	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B	
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B	
	苦情等対応	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B	
	利用者アンケート	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B	
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
	利用状況	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B	
		利用実績は、目標水準である。	B	B	
総括		「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】		B	B
(指定管理者自己評価)		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B	
		収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B	
		経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B	
		収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B	
		「経費の収支等」に関する評価【4項目】		B	B
		(所管課評価)			
利用団体数、利用件数は、前年度より微減となったが、総利用者数は、微増となっている。サッカー大会やクロスカントリースキー教室の開催等により					
		利用促進に努めている。今後もサッカー大会の開催継続や魅力あるイベントを開催することにより利用者数の増加を図る必要がある。			
		利用者の満足度は、昨年より1.9ポイント減となったものの、テントの設置や多目的広場の使用により、再利用希望率が、0.9ポイント増加した。			
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C 以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C 以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。